
Reply from the Author

横静脈洞血栓症にて一過性に皮質盲を呈した 1 例

三瀧 真悟*

A case of transient cortical blindness due to thrombosis of the transverse sinus

Shingo Mitaki, M.D.

Department of Neurology, Shimane University

(臨床神経, 48 : 671, 2008)

拝啓

先に発表させていただいた論文「横静脈洞血栓症にて一過性に皮質盲を呈した 1 例」にかんして大変貴重なご意見をいただきありがとうございます。

ご指摘いただきました Fig. 1A ですが, 造影ではなく単純 CT です。画像の解像度を上げる過程でコントラストをつけ

たために一部内頸動脈や中大脳動脈が高信号に写ったものです。単純 CT 上右横静脈洞は明らかに高信号であり血栓と診断しております。

また MRV での左右ですが, ご指摘の通りであり, 統一すべきであったと考えています。ご指摘ありがとうございます。

敬具

*Corresponding author: 島根大学医学部附属病院神経内科 [〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1]
島根大学医学部附属病院神経内科
(受付日: 2008 年 7 月 11 日)